

平成 21 年 (2009) 10 月 29 日

7

【本報訊／何江攝影報道】2009 第七屆“共力杯”大 中學生日語演講比賽,10月18日在上海甘泉外國語學校舉行。比賽得到了 日本文部科學省、日本共立國際交流講學財團、日本駐滬總領館、全日空上海支店、普陀區教育局等的大力支持。

由日本共立國際交流講學財團出資 上海甘泉外國語學校具體承辦的此次賽事,對於提高學生的日語運用能力,加強中日文化交流,加強“國際理解”的意識,有着十分積極的意義。參賽者來自上海交通大學上海外國語大學等 11 所大學以及 3 所外國語學校,共計 160 多名。

比賽的 3 個自選主題是:我想向日本

介紹的 中國上海的觀光地、我認為在日本能有人氣的商品、我想向日本人介紹的中國話—上海話。

本次大賽共評選出來自上海交通大學、江蘇南通大學、上海外國語大學、同濟大學、南京外國語學校、上海外國語大學附屬外國語學校和上海甘泉外國語中學的 8 名大中學生赴日本進行交流考察。這樣的比賽能激勵有志於推動日中友好的學生們,更好掌握語言,理解日本文化,發展中日友誼。

由以“日語見長 多語發展”為辦學目標的甘泉外國語中學籌辦這樣一項活動,體現了學校在國內的良好聲譽,學校選派的學生,再比賽中均有不俗表現,取得了友誼的成績。此次的演講比賽為學生將來的可持續性發展,成為

“有教養的,有競爭力的 有個性 由國際實業的現代人”提供了廣闊的舞台。



上海舉辦大中學生日語演講賽

東方時報2009年10月29日掲載

(訳: 共立国際交流奨学財団職員・佐井浩然、峯岸奈津美)

上海で行われた大中学生日本語スピーチコンテスト

【本紙記者/何江撮影報道】

2008年第7回“共立杯”(大学生、中学生による日本語スピーチコンテスト)が、10月18日に上海甘泉外国語学校で行われました。今大会は日本文部科学省、日本共立国際交流奨学財団、在上海日本総領事館、全日本空輸株式会社上海支店、上海普陀区教育局などの支持を得て開催されました。

日本共立国際交流奨学財団をスポンサーとして、上海甘泉外国語学校が引き受けた今大会は、学生の日本語運用力のレベルアップを目指し、中日のコミュニケーションを深め、国際理解の意識を強める趣旨でした。参加者は上海交通大学、上海外国語大学など11ヶ所の大学及び3ヶ所の外国語学校、合わせて大よそ160名でした。

コンテストは:「私が日本に紹介したい中国・上海の観光地」「私が日本で売れると思う中国・上海の商品」「私が日本人に教えたい中国・上海の言葉」という3つの課題が出されました。☒

本大会を通し、上海交通大学、上海外国語大学付属高校から、計8名の大学生、中学生の入賞者は日本を実際に訪れ、交流しに行きます。この大会の目的は、日中友好関係を目指している若者に言語の把握、日本文化への理解、中日の友好関係を深めるきっかけを作りました。

従来、「日本語が得意、多国語を勉強」と目標にしている上海甘泉外国語学校がコンテストを引き受けたことから、本学校が国内でのいい評価を受けていることが現れていました。学校の代表も本大会にいい成績を取っていました。本大会は学生達に将来持続的な発展や、「教養があり、競争力を持つ」個性的な国際実業家になる舞台を提供しました。